

発達支援センター統合整備に係る整備方針について

1 結論

発達支援センター「なかよし」、「ひまわり」及びことばの教室（養正・昭和幼）の統合について、建設候補地を含めた整備方針を次のとおり策定した。

＜整備方針骨子＞

- (1) 統合後は、地域の中核的な役割を担う児童発達支援センターとして、療育の質の底上げを行うとともに、増加する療育ニーズに対応するため、官民一体となって、市全体の定員枠を増やす。
- (2) 建設候補地を「旧葦南幼稚園」とする。

2 現療育体制の課題

- (1) 施設の老朽化（耐震性不足）

老朽化による雨漏りや床剥離の不具合により安全な療育を行うのに支障が出ている。

- ・発達支援センター「なかよし」：昭和 35 年築 (H6 増改築) IS 値 診断未実施
- ・発達支援センター「ひまわり」：昭和 44 年築 (S47 増築) IS 値 0.52

- (2) 多様化するニーズへの対応

発育やことばなど何らかの心配を抱える児童の割合が増加傾向にある中、療育を実施できる施設が限定され、多様化するニーズに対応しきれていない。

3 経緯

- (1) 平成 28 年 4 月：あり方の検討を第 7 次総合計画（前期）に明記
- (2) 令和 2 年 4 月：整備方針策定及び整備を進めることを 7 次総合計画（後期）に明記
- (3) 令和 2 年 5 月：WG を立ち上げ、ソフト・ハード両面について検討を開始
- (4) 令和 3 年 4 月：春日井市の療育体制と経営状況を参考に、本市における療育体制見直しの検討を開始
- (5) 令和 3 年 6 月：ソフトWGにて、整備方針（案）を策定
ハードWGにて、最終候補地（案）を「旧葦南幼稚園」にすることで決定

4 春日井市の成功事例

- (1) 春日井市の実態

療育勸奨者の受入先を、公民 1 : 9（定員 30 人 : 208 人）とし、市はセンター化による中核的な機能を担い、他の事業所と連携を図りながら、民間の多彩な療育を支えている。

- (2) 春日井市利用者の民間事業所への評価

- ・その日ごとの児童の様子に合わせた支援が提供されている。
- ・ラインの活用により、活動の様子がわかる
- ・大勢の子どもがいる中でも、我が子をよく見てアドバイス・報告をもらえてうれしい。

※各事業所が公表している第三者評価結果から抜粋

5 整備方針（案）の主な内容

- (1) 発達支援センター「なかよし」、「ひまわり」及びことばの教室（養正・昭和幼）を統合し、法定の児童発達支援センターとして整備を進める。
- (2) 今後の人口推計や民間事業所の活用などを見越し、新発達支援センター開設時の定員や発達支援センターと民間事業所の受入割合の目標値を設定。
 - ① 療育勸奨者の受入先を、開設時点（R6）までに公民5：5（現9：1）とし、公民3：7を最終目標（R23 達成予定）と設定。
 - ② 開設時点（R6）で、公設受入定員を50人/日（現：85名/日）とし、30名/日を最終目標（R23 達成予定）と設定。
- (3) 市内各所で療育ができるよう、民間事業所の新規参入と定員拡大促進を実施。（別紙1 民間事業所一覧）
- (4) 多対多の療育を基本とし、児童に応じ柔軟に療育支援を行う。（現在：主に1対1）
- (5) 統合後は、「児童発達支援事業」、「保育所等訪問支援事業」を引き続き実施し、新たに「相談支援事業」を実施。
- (6) 中核的な役割として、「連絡協議会の開催」、「研修の開催による地域支援」を実施。
- (7) 職員配置や整備室数の見直しを実施。
 - ※（ ）は他職と兼務している職員
 - ※.....は児童発達支援センター化に必須要件

6 候補地の選定について（別紙2）

ハードWGにおいて建設候補地を6か所選定し、点数比較を実施。

	建設候補地	住所	有効面積 (㎡)	手法	建設費 (千円)	点数	コメント
①	旧董南幼稚園	脇之島町	3,124	転用	399,600 (241,800)	74.3	インクループ◎、寄付受領物件の活用、一部アスベスト有
②	ひだまり広場	東町	4,875	新設	605,500 (379,200)	70.2	自然環境◎、接道なし 該当地が盛り土
③	大畑調理場/ 食器洗浄センター	大畑町	3,585/ 2,937	転用	788,800 (482,500)	61.8	アスベスト有、改修転用困難 浸水想定区域内
④	星ヶ台保育園 隣接地	星ヶ台	2,114	新設	754,800 (472,700)	61.4	インクループ◎ インフラ整備必要、調整池の変更・追加必要
⑤	脇之島小学校	脇之島町	26,191	複合	653,900 (395,500)	56.6	インクループ◎、 利用者との合意形成×
⑥	共栄調理場	虎溪山町	3,795	転用	826,900 (541,600)	46.2	土砂災害想定区域、 浸水想定区域、アスベスト有

※建設費の（ ）は、起債を考慮した実質負担額

※建設費には、設計委託、外構工事等の費用も含む

7 旧董南幼稚園の活用案について

[整備手法] 転用 (一部増築)

S 造建物 3 棟を解体後、既存 RC 造建物 2 棟を改修。また、療育体制の見直しを行って確定した必要部屋数 (面積) 分に合わせ増築。

<整備面積と概算費用>

<単位:千円>

	延床面積	①残耐用年数	②建設関係費	③大規模改修費	④年コスト (②+③)/①
★ 統合案	約 1,100 m ²	42 年	399,600 (241,800)	56,000	10,850
新築 [参考]	約 1,100 m ²	80 年	633,400 (408,400)	280,000	11,420

※②建設関係費の () は、起債 (なかよし 436 m²+ひまわり 1,029 m²=1,465 m²未満が条件) を考慮した実質負担額

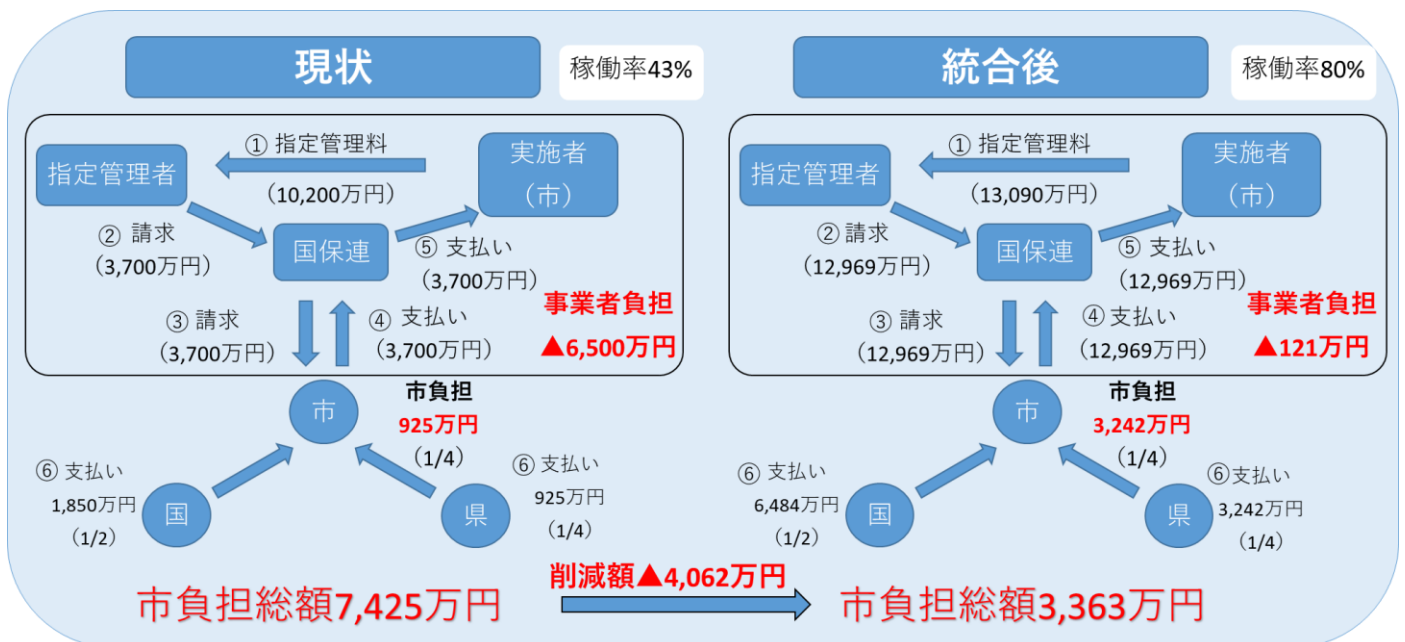
※②建設関係費には、設計委託、外構工事等の費用も含む

※③大規模改修費は、施設開設から施設閉鎖までにかかる改修費用 (解体費を除く)

8 運営費用比較 (試算)

(1) 経営状況の健全化

児童発達支援センター化によるサービスに対する給付費単価の向上と、支援方法の見直しにより、健全な経営状況に (市負担額が削減)



(2) ことばの教室

ことばの教室担当保育士 (正規 2 名+会計年度 4 名) を削減し、保育現場へ復帰 (▲2,312 万円)

9 スケジュール

令和 3 年 9 月	候補地を含めた整備方針の策定 (政策会議)、全員協議会 (9/29)
10 月	パブコメ、利用者向け説明会、住民説明会
令和 4、5 年	設計業務委託、工事
令和 6 年 4 月	供用開始



— 既存施設 —		法人名	現状の 受け入れ数	R6 時点 受入予定数	
①	Uライフ (平井町)	(社福) みらい	5 人/日	5 人/日	
②	みどりのさと (坂上町)	(株) U&I	3 人/日	3 人/日	
③	きらり多治見 (明和町)	(株) クラゼミ	5 人/日	5 人/日	
④	天使の居場所 (前畑町)	(特非) みんなの手	1 人/日	1 人/日	
— 新規展開施設 —					
⑤	すだち (笠原町)	(株) アイステップ	/	1~5 人/日	
⑥	すだち大原 (大原町)			1~5 人/日	
⑦	ぴーすふる (太平町))			(株) ブリリアント	1~5 人/日
⑧	みらいへのいえ多治見 (昭栄町)			(株) ミライへ	1~5 人/日
⑨	みらいへのいえ姫 (姫町)				1~5 人/日
⑩	Cocoro 多治見生田教室 (生田町)			(株) ルンパ ロダ クシヨ	1~5 人/日
⑪	ウイズユー (美坂町)			(株) Fairy rose	1~5 人/日
合計			14 名/日	21~49 名/日	

発達支援センター建設候補地点数比較表

		条件 ①地籍3,200㎡以上、施設面積1,465㎡以下 ②用途地域が児童発達支援事業所を制限していないこと(手続きを経て建設可能な地域も可)																	
手段	候補地	評価項目											コメント						
		土地条件(15)		安全性(10)		周辺環境(35)			整備・維持費	スケジュール	補正点	合計							
		面積	法規制	浸水	土砂	アクセス	住民への影響	療育環境					10	5	5	5	10	10	15
転用	① 旧葦南幼稚園 【転用】	7.1	3.7	5.0	4.0	6.0	6.1	10.7	20.0	10.7	1.0	74.3	・脇之島小学校と隣接しているため、交流が可能(インクルーシブ教育) ・市有施設の有効活用	・住宅街に建設されているため、住民の合意形成が必要					
新築	② ひだまり広場(奥) 【新築】	8.7	3.7	4.8	3.1	6.1	7.9	12.0	19.6	4.3	0.0	70.2	・駐車場整備不要 ・自然が多く療育環境最適	・接道なし(市道整備or県許可必要) ・該当地が盛土のため調査が必要。工期の延長、建設費の追加が想定される。 ・インフラ整備が必要					
転用	③ 大畑調理場・ 食器洗浄センター 【転用】	8.3	3.9	3.0	4.6	6.0	6.4	7.3	15.7	6.6	0.0	61.8	・十分な面積が確保可能	・既存施設の改修・転用が困難 ・外壁にアスベストは検出 ・侵入口の拡充必要 ・浸水想定区域内(L2:0.5m~3.0m) ・宅地造成規制等(大畑のみ)					
新築	④ 星ヶ台保育園隣接地 【新築】	3.7	3.2	1.6	3.5	6.1	9.1	10.3	16.8	7.1	0.0	61.4	・保育園が近いので、交流が可能(インクルーシブ教育) ・駐車場整備不要	・宅地造成規制(区域内) ・開発許可 区画性質の変更(調整池の変更・追加) ・インフラ整備が必要 ・駐車場が上段になるので、肢体不自由者の利用が困難					
転用・ 複合	⑤ 脇之島小学校 【複合】	5.7	4.1	5.0	4.0	6.4	4.4	5.4	14.4	6.2	1.0	56.6	・小学校との交流が可能(インクルーシブ教育) ・都市機能誘導域内(障がい福祉事業所等の誘致)	・現利用者の合意形成が困難 ・学校現場との調整が困難である ・バリアフリーのために大幅な改修を要す(エレベーター設置必要等) ・利用者駐車場を別で確保する必要あり ・土砂災害警戒区域有り(レッド、イエロー)					
解体・ 新築	⑥ 共栄調理場 【解体・新築】	6.7	3.1	1.5	1.7	6.0	7.3	3.9	9.8	6.2	0.0	46.2	・中心部からアクセスしやすい	・土砂災害想定区域(レッド、イエロー) ・浸水想定区域内(L2:3.0m~5.0m) ・道路に面しているため、安全性にかける ・外壁にアスベストが検出 ・開発許可 区画性質の変更あり(敷地のかさ上げ)					

別紙 2

採点基準目安表

○基本事項

- 1 候補地の中で優劣をつけ、相対的に評価する
- 2 数字等により比較可能なものは、最大点を基本とし、減点方式による採点を行うこと
- 3 補正点は加点のみとし、減点は各項目にて行う

(1) 土地条件 (15 点)

① 面積 …… 10 点

- －十分な平地面積を有しているか
- －建設整備が容易な土地形状か（平屋による建設が理想）
- －利用者用駐車場を十分に確保できるか（利用者 30 台程度）
- －車両がスムーズに往来できる幅員のある道路に接しているか

② 法規制 …… 5 点

- －建設にあたって法規制等はあるか
- 法規制にあたる場合は減点対象（規制がない場合 5 点、以下減点）

(2) 安全性 (10 点)

① 浸水 …… 5 点

－水害の恐れはないか（警戒区域にあたるか）

② 土砂 …… 5 点

－土砂崩れの恐れはないか（警戒区域にあたるか）

(3) 周辺環境 (35 点)

① アクセス …… 10 点

- －公共交通手段があり、その場所から容易に通所ができるか
- －市南北各所からのアクセスにどれだけ時間を要するか

② 住民への影響 …… 10 点

- －工事期間中配慮が必要か
- －療育の騒音配慮が必要か
- －住民の合意形成に時間を要するか

③ 療育環境 …… 15 点

- －自然環境があるか
- －公園等、センター外療育が可能か
- －交通量は少ないか
- －外部からの騒音はあるか
- －インクルーシブ教育の推進が可能か
- －施設に十分な療育環境が整えられるか

(4) 整備、維持費 …… 20 点

- －① 造成、② 新築又は改修並びに増築、③ 耐用年数までに必要な改修・修繕費用
- 上記①～③を耐用年数で除して年当たりコストで比較

(5) スケジュール …… 15 点

- －供用開始までに支障なく進行できるか
- －法規制のクリアに時間を要するか

(6) その他（補正点） …… 最大 5 点

- －（1）～（5）までにない項目で、メリットより加算